

令和7年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童生徒を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 事実と感想、意見などとの関係を、叙述を基におさえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができている。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができている。
- 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり、関係付けたりして内容を検討することに課題がある。

【算 数】

- 小数や分数についての計算力が身に付いている。
- 資料から必要な情報を選び、数量の関係を式にし、計算することができている。
- 目的に応じて資料を選択し、数量の関係を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がある。

【理 科】

- 条件を正しく設定した実験の方法を発想し、表現することができている。
- 「直列つなぎ」などの科学用語に関する知識が身に付いている。
- 実験器具の使い方の順序など正確な操作方法の理解について課題がある。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。
- PC・タブレットなどの ICT 機器を使ってプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができている。
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちを感じている。
- 1日当たりの授業の時間以外の勉強時間が少ない。

3 評価と今後の取組

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・算数科の少人数指導や個に応じた補充学習の実施
- ・国語科や算数科の前学年までの基礎・基本の習得を図るための学習の実施

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・ICTの効果的な活用を通して、個別最適な学習（興味関心や理解度に応じた学習）の実施
- ・雷山タイム（モジュールタイム）における音読やフラッシュカード等の基礎基本の習熟

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・子どもたちが安心して過ごせる学級集団づくり
- ・学校・地域の特性を生かした授業・行事づくり

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・子ども自身に自分の課題を意識した学習内容、学習方法を意識させる支援体制
- ・授業以外の場で、子ども自身が学びを広げたり深めたりできるように、家庭・地域・学校で連携して子どもの学びをサポートする。